

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月24日		記入者	連絡先	756-0290
部 名	教育総務部	課 名	総合学習センター	課長名	木下 英雄
事務事業名	さがみはら教育の発行				
予算上の事務事業名	さがみはら教育139・140号				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		14122		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造				事業開始年度
施 策 名	第2施策 小・中学校教育の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
3 個別計画の概要					
計画名	概要				
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	調査・研究 ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)		
<p>「さがみはら教育」は、学校教育・社会教育共に子どもの教育にかかわるという視点を持ち、総合学習センターの教育情報誌として、教育情報の提供を行う (年間2冊)。 本誌の特色である「特集」では、相模原市における様々な教育課題や子どもの教育に関わる実態をアンケートにより明らかにし、提言やまとめも含めて総合学習センターとしての考えを発信していく。構成にあたっては、特集、教育随想、市内の教員の教育実践 (私の工夫ワンポイント) 等を主な内容とする。</p>			教職員		
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動) なのか。 年間で2号を発刊。市立小中学校・公民館・市内関係機関・全教連加盟機関等へ教育情報の提供を行っている。 ○139号 子どもとの向き合い方を考える ○140号 「学社連携・融合」は今!～相模原市における「学校と地域の協働」の現状と課題～					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事 業 費	2,061	2,018	1,998	1,935	1,935
一般財源	2,061	2,018	1,998	1,935	1,935
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	380	380	380	380	380
事業コスト合計	2,441	2,398	2,378	2,315	2,315
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	さがみはら教育の発行			対象名称と単位	制作冊数 (冊)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	2,441	2,398	2,378	2,315	2,315
対象数	2	2	2	2	2
単位あたり経費(円)	1,220,500	1,199,000	1,189,000	1,157,500	1,157,500
前年度比		0.98	0.99	0.97	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	制作冊数（冊）	指標式と指標の説明	年2号（冊）		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	2.0	2.0	2.0		
目標	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	活用率（%）	指標式と指標の説明	活用教員数／教員数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	2300.0	2300.0	2300.0		
目標	2300.0	2300.0	2300.0	2700.0	2900.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		学校教育、社会教育の事業を立ち上げる際に参考となるデータを多く含んでいる	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 データをセンターHP上で検索できるように整備する （発行冊数の削減につながる）			14 課題として認識されたこと		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		効率的な事業の実施に努めること。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			